

この広報がお手元に届く頃は、喜ばれも押し詰まる12月末です。学校は休みに入り、仕事納めとなった方もいらっしゃるのではないでしょうか。平成は来年4月30日を持って終わりを告げます。30年113日続いた「平成時代」は昭和(64年)・明治(45年)・応永(35年)につぐ4番目に長い元号となりました。応永といふ元号は耳慣れないかもしれませんが、室町時代將軍足利義満の頃のものです。

新しい時代の始まりとなる年、雄武町には新しい図書館ができます。夏頃のオープンとなりそうですが、その時を心待ちにしている方も多いと思います。もちろん私もその一人です。書店がないこの地域で図書館の果たす役割はとて大きく、様々な書籍に触れることのできる場所となってくれることを願っています。

10月初めから雄武町図書館でも図書管理システムを大幅に一新して、インターネットを使ったオンライン蔵書検索サービスもスタートさせました。パソコン用とスマートフォンなどの携帯端末用の2つのサイトがあります。それを使うことで現在雄武町図書館にある蔵書をわかりやすく検索できるよくなりました。試しに私が好きな作家の本を検索してみました。西加奈子さん21冊、三浦しんさん40冊、角田光代さん67冊、村上春樹さん75冊などが必要にして十分すぎる蔵書が揃っています。ちなみに西加奈子

地域おこし協力隊が行く！

皆さんの場合、札幌市中央図書館の蔵書は31冊で雄武町図書館とそれほど遜色はありませんし、もし読みたい本がなければ図書館にはリクエストシステムというものがありません。ぜひ利用してみてください。

本は個人の嗜好が大きく関わってきますが、公的図書館はなるべく偏りがないように本を揃えなければいけません。今後はそのバランスを考慮しながら司書の方や未来のボランティアスタッフの方々が図書館に新しい息吹を吹き込んで行ってくれることを願っています。

スマートフォンやゲームの影響が大きいです。近年本を読む子どもが少なくなっています。本を読むという動機付けはなかなか難しい問題ですが、頭を使って想像する「妄想する」「考える」ことは成長していく過程でも大切なことですから、ぜひ「読書する子」を育てていきたいと思います。今年一年お世話になりました。よいお年をお迎えください。



地域おこし協力隊 佐藤 寧

Activity Report
地域おこし協力隊 ～活動レポート～

Everyone's infirmary

みんなの保健室
知っていますか？とっても怖い「冬の脱水症」

冬場は夏よりも汗をかきにくく、意識的に水分をとりにくくなります。しかし、ストーブをつけて乾燥したお部屋は、気付かないうちにジワジワと体の水分を奪っていき、慢性的な脱水症状を引き起こす危険があります。脱水で水分量が減ると血液がドロドロになり、流れが悪くなることで血管内の血が固まり、詰まりやすくなります。脳の血管が詰まれば脳梗塞、心臓のまわりで詰まれば心筋梗塞となります。

- ・脱水チェック！こんな症状、ありませんか？
- 体がだるい
 - めまいや立ちくらみがする
 - 一日中眠い
 - 集中が続かない
 - 食欲がわからない
 - 肌がカサカサしている
 - 唇や口が乾き唾液がネバつく
 - 親指の爪を押して離し、白から赤く戻るまで3秒以上かかる
 - 手のひらやまぶたの裏が白い

はじめのうちは自覚症状もほとんどありませんが、冬もこまめな水分補給を心がけましょう。

冬はノロウイルスやインフルエンザの流行などもあり、嘔吐や下痢、発熱などによる水分・電解質を失うリスクが高い時期でもあります。
手洗い・うがい、マスクの着用で感染予防も心がけましょう！



関保健福祉課保健係

Kids

わんぱくキッズ(若草保育所)～大きくなったら～



たなか きいちゃん まえだ はるまくん もりた こおきくん やまざき たくとくん

『 版画カレンダー 』

Art Museum

小さな美術館 ～豊丘小学校～

